

津久見市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2020

1 目標

津久見市耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化を促進するため、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に耐震診断の実施及び耐震改修等による耐震化を促していく。耐震診断を行う建築士や改修事業者に対しては、技術力の向上や改修コストの縮減を図るためのノウハウの共有等により、本市の状況を踏まえた取組を行うことが重要である。

このため、津久見市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム(以下「アクションプログラム」という。)を作成し、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を評価するとともに、プログラムを見直し、改善を図ることで、住宅の耐震化を強力に推進していく。

2 位置付け

アクションプログラムは津久見市耐震改修促進計画に位置付ける。

3 取組内容・目標・実績

	令和2年度取組内容	令和2年度目標
	【財政的支援】 i) 住宅の耐震診断費に対する補助を実施 ii) 住宅の耐震改修費(補強設計費等を含む)に対する補助を実施 【普及啓発等】 i) 住宅所有者に対する直接の啓発 ☐ 市報や回覧で、訪問による個別相談の希望者を募集し、耐震アドバイザーとともに訪問し簡易診断と補助制度の説明を行う ii) 耐震診断実施済みの所有者に対する耐震化の意思確認 ☐ 前年度以前に耐震診断実施済みの所有者に、TEL等により改修の意向を確認し、最適な補助制度等の説明を行う ☐ 平成31年度耐震診断を行う所有者に対し、診断完了時に改修に向けた意向調査及び補助制度等の情報提供を行う iii) 改修事業者の技術力向上等 ☐ 県建築物総合防災推進協議会に協力を求め改修設計及び工事事業者向けに耐震改修工法に関する技術力向上やコスト縮減のための研修を年1回実施する iv) 一般市民への周知啓発 ☐ リーフレット等により耐震化の必要性の周知を図る ☐ 津久見市ふるさと振興祭に相談・広報ブースを設置 ☐ 津久見市役所ロビー等に広報展示を1週間設置 ☐ 5月市報に補助制度と募集期間を掲載し、併せて啓発を行う	☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(4)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(2)戸 ☐ 戸別訪問の実施戸数(5)戸 うち耐震アドバイザーによる簡易診断戸数(5)戸 前年度までの実績 平成31年度(令和元年度) ☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(3)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(2)戸 平成30年度 ☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(8)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸 平成29年度 ☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(3)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(3)戸 平成28年度 ☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(2)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸 平成27年度 ☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(0)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸 平成26年度以前 ☐ 木造住宅耐震診断補助戸数(1)戸 ☐ 木造住宅耐震改修補助戸数(1)戸
計画	前年度(平成31年度)取組実績	前年度(平成30年度)の課題
	☐ 津久見市ふるさと振興祭にて、耐震相談ブースを県職員(本庁・白杵土木事務所)と一緒に設置。また、「かみぶるる」を用いた子供も参加できる工作も実施し、大人だけでなく子供へも「耐震の必要性」を体感してもらった。 ☐ 補助制度のチラシを5月に全戸配布 ☐ 県主催の耐震キャラバンへ参加。図書館の玄関ホールに実寸台の模型・パネルを展示し来館者に周知をした。	☐ おおいた住まい守り隊・大分県木造建築耐震診断士の名簿(一部)をHPと窓口にて紹介 ☐ 津久見市ふるさと振興祭にて2日間相談ブースを設置
自己評価	改善策	
	☐ 空き家バンクやリフォーム事業と情報共有をし取り組む ☐ 県と協力し耐震への興味を得られるように工夫したふるさと振興祭での出店(新しいPR方法の検討) ☐ 今まで行っていなかった周知の方法を検討および関係団体と一緒に取り組めるように検討する。	